事業番号

133

平成23年度事業シート(概要説明書)《※平成22年度実施事業》

	事務事業	集名	介護	相談員派遣	事業						担旨	当部	健康社	畐祉部
	会計区	分	一般:	会計			事業	類型	_	般	担当	当課	長寿が	介護課
	事業期	間	-	平成13年度		~	平	成30年	年度以	.降	担当	当係	介護係	呆険係
	総合計画 分野別計	主目的	3	保健福祉		13 高齢	者福祉	Ė	3	健全の	の介護	保険制	制度を	運営する
	画	副目的												
	予算区	分	款	3	項	2	目	4	1	大	2	2	中	2
	根拠法令・個	別計画	介護	相談員派遣	等事業	実施要綱(平成1	8年5月	月24日	厚生	労働省	全健	局計画	i課長通知)
		عدر	0	市が直接実	[施•道	堂 二		地域值	主民組	.織		一部之	又は全	:部委託
事	実施•運 方法	'呂'		指定管理・	外郭回	団体	名称:							
				N P O・そ	· の ft	<u>t</u>	名称:							
業	目的													
	(対象をどな状態にす			介護保険サービス利用者がより良いサービスを受けられるよう、介護サービスを提供 する事業者における介護サービスの質の向上を図る。										
0	な が 認にす か)	907	9 W=	尹未行1〜031	ונייל	受り こへ	少 良v.	/ [H] `	പ്ര വ	0				
概														
要			公主	ない とうない ひょう ひょう はい こうしゅ しょう はい しょう	相談	昌(定員8名) / i` [コーテ-	ーショ	ンを組	み 冬	施設	笠を日	1回程度
- 1			訪問し	ン、利用者 <i>σ</i>	悩み	などを聞き耳	反り、禾	川用者	の介護	まサー	ビスに	対する	5理解	の促進を
	内容 (手段)	`	に提	こともに、事業 言として報告	する。)								
	(子权)	,		は、月1回 調整、受入5										
						事業所への発送を行っています。						71 HZ 11	- 427.2	, 201) 101
	受益者負	担	無	内容										

				単位	H21決算額	H22決算額	H23予算額
		直接	経費	千円	4,134	3,368	4,715
		正職員	従事者数	人	0.10	0.10	0.10
コ		正嶼貝	人件費	千円	536	536	536
	費用	その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00
ス		ての心戦員	人件費	千円	0	0	0
		費用	合計	千円	4,670	3,904	5,251
١		対前	年比	%		83.5	
		一般	財源	千円	4,670	3,904	5,251
	財源	国・県	国·県支出金		0	0	0
		その他	也財源	千円	0	0	0

		活動指標名	単位		H21	H22	H23
		派遣施設数	箇	目標	33	30	33
	活動	派追 加設数	所	実績	30	30	
2114	動指標	施設派遣延べ人数	人	目標	530	530	566
業	標	旭政派追延べ入数		実績	531	531	
				目標			
				実績			
績		成果指標名	単位		H21	H22	H23
	成	利用者からの苦情件数		目標	0	0	0
	成果指標	利用名がりの召開下数		実績	0	0	
	標			目標			
				実績			

	事業目的の 達成状況	利用者の声をサービス提供事業所に伝え、改善が図られていることから目的は達成されています。成果がすぐに現れるものではないので、継続的な活動を行う。						
事業の自己評	事業を廃止・ 休止したとき の影響	介護サービスの質の向上が停滞するおそれがある。						
価	判 定	A 市が実施(現状維持又は充実)						
(一次評価)	判定理由	介護サービスの質の向上を図ることは、保険者(市)の責務であり、行政が公平・中立な立場で民間事業者に介護相談員を派遣する必要がある。また、利用者の話を聞き、事業者に改善意見を伝えるという活動内容は目的を達成する手段として有効であり、現状維持とした。						
	今後の事業 の方向性 (今後の取組 み・改善計画 等)	平成22年度犬山市の介護相談員と情報交換を行った。サービス利用者の本心を聞き出す話術、接し方について、さらに他市介護相談員との交流を行い、介護サービスの質の向上を目指す。 派遣施設数については、平成23年4月に新規開設した施設3箇所を加える。						

=	判	定	Α	市が実施(現状維持又は充実)
次評価	判定	理由	一次評価の) とおり